

令和 3 年 9 月 定 例 会  
予算決算委員会記録 【予算の部】

令和 3 年 9 月 21 日 午前 10 時 00 分  
全員協議会室

付託案件 議案第 36 号 令和 3 年度有田市一般会計補正予算（第 4 号）  
議案第 37 号 令和 3 年度有田市介護保険特別会計補正予算  
（第 1 号）

出席委員 西口正助委員長・中西登志明副委員長  
浜口元司委員・福永広次委員・宇野博治委員・生駒三雄委員  
堀川 明委員・児嶋清秋委員・岡田行弘委員・池田敦城委員  
上山寿示委員・小西敬民委員・成川 満委員・上野山善久委員

中谷桂三議長

経営管理部 嶋田博之経営管理部長・大松満至経営管理部理事  
喜多俊充経営管理部参事・山本芳規経営企画課長  
御前一晃総務課長・上田敏寛防災安全課長  
吉野清誠まちづくり係長・谷中祐子財政係長  
上村泰広総務係長・伊藤めぐみ人事係長

市民福祉部 宮崎三穂子部長・松村尚彦福祉課長  
若松伸行高齢介護課長・網谷彰洋民生係長  
福田典久介護保険係長

経済建設部 河野孝司経済建設部長・鈴木順一経済建設部理事  
中尾一之産業振興課長・大浦秀和有田みかん課長  
泉 泰朗都市整備課長・酒井宗博みかん農政係長  
嘉藤峰征都市整備課公共建築係長

水道事務所 北野宏幸水道所長

出納室 森川直子会計管理者

教育委員会 伊藤正人教育委員会参事・山本 崇給食センター長

市立病院 神保佳紀事務長

議会事務局 田中 聡局長・福永康一次長・大谷真也書記

開会 午前10時00分

○西口委員長： 開会あいさつ

議案第36号、令和3年度有田市一般会計補正予算（第4号）

○山本課長： 歳出 第2款 総務費の関係部分の説明

○若松課長： 歳出 第3款 民生費の関係部分の説明

○大浦課長： 歳出 第5款 農林費の関係部分の説明

○山本課長： 歳入 関係部分の説明

○西口委員長： 説明は終わりました。次に、質疑を認めます。

御質疑ありませんか。

○成川委員： 5ページの防災費、公有財産購入費です。

公有財産購入費、防災用倉庫ガレージを買うという説明になっています。

先ほど、当局からの説明で土地を買うと。面積は268.何とか平米ですという説明でありましたが、ガレージ付の土地を買う、両方買うという意味だと思えますが、ここでの説明が、防災用倉庫ガレージになっていますので、土地の面積268平米、この防災用倉庫ガレージの面積はどれだけなのか。おそらく、土地とガレージと買うと思うので、そこら辺のことも確認しながらお聞きしたいと思えます。

○山本課長： 先ほど、早口で申し上げまして申し訳ございません。建物の面積も申し上げておりましたが、対象の建物は、軽量鉄骨造平家建て127.4平方メートルでございます。土地の面積は268.33平方メートルでございます。あと、ガレージとしましては9部屋でございます。

○成川委員： ガレージ127平米と、その下の土地268平米を買うということで、わかりました。何か、この公有財産購入費、ガレージと書いてあるのが、説明がこれでいいのかなという気もしますけども。説明いただいたので、了解です。

○西口委員長： ほかに御質疑ありませんか。

○岡田委員： 今に続いて、NTTの倉庫がいっぱいになったということでここを買いにいきましたが、そこを活用できる範囲と言いますか、地域的には、糸我もそこを使えるのでしょうか。

○上田課長： ここへ置くものとなれば、市の全ての物品となります。特段、糸我とか宮原とか、そういう地域は考えてございません。今、NTTにあります間仕切り用の段ボールを置きたいと考えてございますので、どこの地域というのは、私ども考えてなくて、市全体を考えてございます。

○岡田委員： 了解いたしました。

- 生駒委員： この段ボールを保管するとなると、あの場所は、宮原地区で冠水地域にもなってくるけど、そこに、段ボールを置いとくということになると、水の心配もしないといけませんが、その辺りの対応も考えていますか。
- 上田課長： 多分、段ボール置くときに、下にはパレットを置くというところでごさいます、まず、購入後はこのガレージを修繕したいと考えてごさいます。その中で、パレットを下に置きまして段ボールを敷いて、その上へ防風用のシート等をかけて、雨漏り用の対策はしたいと考えてごさいます。
- 生駒委員： 万全を尽くしてもらわないいけないと思います。それと、その後、宮原小学校の跡地利用の進入道路にする予定だと思いが、その宮原小学校の跡地のこと、どういうレイアウトができていいのか、分からないので、先行投資してまでも買わないといけない理由を教えてください。
- 大松理事： 跡地利用に関しましては現在、市のほうでも検討しておりますが、令和2年度に、地域の皆さん方にお集まりいただいてワークショップを開催し、地域の御意見を伺っております。その中で、地域からの御要望として、小学校の跡地は、まず、子育てに関する施設、イメージとしては保育所や認定子ども園等、子育て機能の施設、それから、併せて地域のコミュニティを形成する公民館に資する施設を中心に考えていただきたいという御意見をいただいております。今、そういった方向で市のほうでも検討してございまして、そうした中で、あの跡地を有効に活用するためには、学校の体育館等もありますので、そこへのアクセス性を向上させていく必要もあるという判断もございまして、進入路としてめばしい位置にあった、なおかつ、防災用倉庫としての機能を果たせるところも視野に入れた中で考えております。今、生駒委員からいただいた跡地の利用に関しては、現在、そのようなところの検討をしているところです。
- 西口委員長： ほかにないですか。
- 浜口委員： 今、この700万円の防災用の土地、ガレージの購入ということで、私はなかなか手際よく購入したなと思っております。この金額とか用途については市が必要であるということで購入するのだから、何ら問題はありますが、私なりにお伺いしたいのは、有田市が今、学校関係、病院、また公民館等々、借地だらけである。それで、この委員会でも今まで、早く借地を地権者と交渉して購入せえと、何度も何度も申し上げていますが、なかなか市の担当者はよう決着をつけない。いわゆる、購入する力がないというのが私の考え方。今回、第三者の仲介業者が入って購入したということですが、この仲介業者が入った経緯というのはどういうことだったのか。相手側との折衝をしてくれた仲介業者は、どのような形で、この物件に対しての仲介業務をやったのか、わかっている範囲であれば、お聞きしたいと思います。
- 山本課長： 今回のこの物件につきましては、ただいま、大松理事のほうから説明がありました宮原小学校の跡活用について、ワークショップの中で有効な活

用という話が出た後に、たまたま、新聞の広告チラシにこの物件が出てございました。それで、そういった意味もございまして、購入を考えたところでございます。

なお、この物件につきましては、不動産業者に聞きますと、1年ぐらい売りに出ていた物件だそうで、今回、こちらから問い合わせをした際に、同じ時期でもう1件、問い合わせがきたということもございまして、今回の補正で計上させていただいたところでございます。

○**浜口委員**： 要は売地であったということやね。売地であって、宮原小学校のために使い勝手があるということで、棚ぼた式に購入できたと。あなた方が、何としても欲しいということで、目の色を変えて購入した物件ではないということやね。そういうことかい。ただ売地であるということを見て、ここを買っておけば宮原小学校の進入路にもなる。防災用の備蓄倉庫にもなるというようなことで買うたということやね。

○**山本課長**： 前提としては、防災用倉庫を探してございました。約3年か4年の間でございますが、宮原小学校跡活用もございまして、両方合わせての購入を含んでございます。

○**浜口委員**： 私の考え方ではね、あなた方が何としても欲しいということで、仲介業者等に頼んで素早く購入したのかというように思いましたが、まあ、大したことではないということやね。わかりました。

○**西口委員長**： ほかにないですか。

○**池田委員**： 防災倉庫として活用するという名目で購入しますが、後々、その倉庫を潰すのですか。それとも、置いておいて利用し、倉庫前の空いている土地を通路として利用するのですか。

○**大松理事**： 今考えているのは、まずは防災用備品、この備蓄のためのスペースを何としても確保したいというのが、まずあります。

今おっしゃっていただいている進入路という部分につきましては、小学校の跡地を活用する際に、再度検討する必要があると思っておりますが、基本的に用地のスペースから考えますと、進入路として今後活用していくという際には、防災備蓄倉庫という機能は別の場所に移す必要があるというふうには考えております。

○**池田委員**： この議案が提出され、すぐに4階へ行行って、いろいろ聞かせてもらった経緯があって、将来的に進入路にするために購入したい。購入するために防災用倉庫というような名目で購入はするが、結局は潰して通路にするということですよ。

○**大松理事**： 明確にそのような形で、私のほうから、今の段階では申し上げられませんが、方向性としては、そのような形を考えていきたいというふうに思っております。

○**池田委員**： 先ほど、生駒委員の発言にもありましたが、有事の際、川が氾濫したときは、あの場所は多分浸水すると思います。恐らく、水が来ると思うので、防災用の備蓄倉庫として、本当にそこが適切なのかどうかというところが1点あ

るのと、やはり、きちっとした計画が見えない。

例えば、そこを何年後に通路にする。宮原小学校が文成中学校に移った後、あそこをどういった施設にして、南側の隣接した道路があるわけですから、塀を潰して通路にできないのかなど。今回、議案として上がってきているその土地を買う必要性が本当にあるのか。そこを買って、果たしてどうなるのかというのが、全く私には見えてこないのです、その辺の説明が、もっと必要だと思いますが。どうでしょう。

○**嶋田部長**： まず、この防災用の倉庫ガレージにつきましては、先ほど来の説明の繰り返しになりますが、まず、災害の備蓄品を置く場所を探していたというのは、これはもう間違いなくそういうことで、特に今、コロナの関係で、間仕切りであったり、いろんな衛生用品であるとか、そういったものの備蓄品の数もどんどん増えておりまして、必要数を置く場所がまずないと。置く場所がないので、今、その部分の整備等が滞っていると、そんなこともあります。そういう意味で、必要であったというのがまず1つあります。

場所として適当かどうかと言われたあたりは、確かにおっしゃるとおり、浸水する可能性のあるエリアでもありますので、そういう意味では、将来的には、もっと安全な場所で備蓄倉庫を確保できるように、努力していかないといけないとは思っております。

ただ、今、急なところで、すぐに整備できるような適当な場所というのがなかなか難しいので、今回、先ほど来の説明のように、売りに出たところを買わせていただくということでもあります。

それと、いつまでも、この倉庫自体が、修繕しながら、ある程度使えると思いますが、将来にわたって長く使えるものでもないというふうに思っておりますし、場所もそういうことでございますので、将来的には、この土地の活用ということについては、先ほど来の説明のとおり、宮原小学校の跡地に、地域からの要望もいただいている中で、今検討していることを進めていく上では、南側での道路だけでなく、東側の県道になると思いますが、県道からもアクセスできるような、二方向からアクセスできるような土地になればいいなというようなことも視野に入れての今回の判断ということで御理解いただけたらと思います。

○**池田委員**： 学校の空き教室とかもあると思うのですが、空き教室はないのでしょうか。その空き教室がある学校の最上階の空き教室へ置くことはできないのですか。

○**上田課長**： 今、池田委員から申された空き教室は使わせていただいております。その中で、私ども、コロナの関係におきまして、避難所用の教室を確保するということもありますので、集中型で確保しています倉庫がいっぱいになってきたということもございますので、今回、購入をお願いしたところでございます。

○**池田委員**： 購入することに対して、100%いいよということとはちょっと言えませんが、今の答弁からは、有田市内の小・中学校には、もう空き教室がないとい

うことですね。

○**上田課長**： 絶対ないのかというところは、私どももそこまで詰めてございません。今、物品を搬送する中で、利便性というところも考えますので、そういう点を含めて、今回の購入の判断に至ったというところでございます。

○**池田委員**： とりあえず、そこのガレージに入れておくと。将来的に、進入路にする場合は、取り壊して、またどこかの倉庫なのかどうなのかは分かりませんが、物品を入れるところを探すなり、買うなり、建てるなりするということですよ。何か無駄な気がしますけどね。

極端なことを言うと、明日災害が来るかもわからない。1週間後に来るかもわからない。1年後に来るかもわからない。そのときに、そこに置いておいた防災用備品が使えないというような事態になったらどうするのですか。どこまで本気で防災のこと考えているのかと思う。

2年後にそこを進入路にするために買うのはいいと思います。何か利用価値があると考えているから買うのでしょうが、その間に、災害が起こって、そこに置いていた防災用備品が使用できなくなったときに、いや、この期間内までには災害が来るとは思っていませんでした。だから、それまで入れておこうと思いましたがということで、済みますのですかということを知りたい。どこまで本気で考えているのかなと思います。

○**嶋田部長**： 今、置く予定のものとしては、間仕切りというような話もありましたように、あそこはやっぱり、津波の浸水ということのエリアではございませんので、洪水ということであります。そういう意味では、避難をしてもらわないといけない状況になったときには、あらかじめ対応することも可能ですので、そういう意味では、無駄にならないのかなというふうには思っております。

○**池田委員**： 災害には様々な災害あると思いますが、例えば、同じお金をかけるのであれば、やはり、どのような災害が起こったときにでも、防災用備品を確実に使えるようなところに保管すべきだと思います。

こういう災害のときには使えるから大丈夫だとか、こういうことはないから大丈夫ではなしに、いかなる災害を想定したときにでも、そこに入っている備品は100%使えるというような、形をとっておくのが、本来だと思いますが。どうでしょう。

○**嶋田部長**： 100%安全なところということであるのが理想ですが、有田市で、いろんな災害が想定される中で、なかなかそれは難しいのかなと思っております。できるだけ、より安全なところということであるしていきたい。

そういう意味では、今申し上げたように、洪水の場合であればこう、津波の場合にはこうと、ある程度、災害の種別ごとに想定して我々も考えていきたいと思っておりますので、洪水の場合で、例えば、避難指示を出す状況になってくれば、当然今みたいに、間仕切りとか、そういったことも必要になってきますので、あらかじめ、それを避難場所へ持っていくということは十分対応できると思っておりますし、そういう形での対応をしていきたい。

それから、100%安全な場所というのはなかなかないので、分散しておくという意味もありますので、各学校の空き教室で備蓄をしているものと、NTTであったり、今回の購入場所であったり、そういう分散という意味合いも含めて考えていきたいと思っております。

○池田委員： 今の答弁ですが、いまひとつ納得できません。分散をするというのはわかりますが、例えばですよ、自分の家を考えてときに、津波のときにはこういう物を用意して、洪水のときにはこんな物を用意してということを考えますか。いかなる災害のときにも対応できるように、自分らでお金を出して購入するものだから、極力、そういうところを考えながら用意をしていると私は思います。税金だからそんなことが安易にできるのでは。例えば、学校の屋上に備蓄用の防災倉庫を置くとかね、私はそのほうがより安全だと思いますよ。あのような場所に置くのであれば。

ただ、さっきも言ったように、何か利用をしようと考えて、今回買うということなので、それはいいと思いますが、名目が備蓄用倉庫となっているから、じゃあどうなのって聞いているだけで、今後の宮原小学校の跡地利用に対して、この土地が必要だというようなことで将来的には、この小学校をいろんなものに利用して東側とのアクセス道路として、こんなことを考えていますということをもっと計画的なものを挙げて来てくれるのであれば判断できますが、単に防災用倉庫を買います。そこに入れます。置くところがないので買います。ほんまに置くところがないのって。ここが本当に適切なのって、ただ素直にそう思うだけで、もっと将来的なことを考えたときに、どういうふうな計画をしているのというところを聞きたい。

○嶋田部長： 将来的な活用ということを視野に入れてということで、先ほど来、説明させていただいておりますけども、まずは、当面は倉庫として使いたいということで、以前であれば、例えば、土地開発公社というものがあれば、そこで先行取得をして保有しておくという、そういうことも考えられると思いますが、今、そういう公社もございませんので、まずは、当面の目的ということでの予算という形で計上させていただいているということで御理解いただけたらというふうに思っております。

○池田委員： 防災用倉庫として利用するのは、私はちょっといかがなものかなという気持ちがするので、そこはもっと違う形で、より安全な、と言ったのだから、より安全な場所に是非置いていただきたい。

いっとういった災害が起こるかかわからないし、私らが考えている以上の災害が起こるかもわからないので、このときはこうだからではなく、あらゆる災害を考えたときに、確実に使えるようなところに、防災という観点を考えるのであれば、もっと真剣に考えていただきたい。その土地を将来使う。そこに倉庫付のガレージあるから、そこへ入れますって、そんなね、おちよくったような発言は控えていただきたい。ばかにしている。

○西口委員長： 今の池田委員の質問中ですが、今回、これは予算委員会で

すので、そういうことの趣旨を踏まえた発言、また答弁をきちっと明確にしてい  
ただきたいと思います。そうでないと、なかなか前向いた議論になりにくいと思  
いますので。

○**嶋田部長**： 今の委員長の発言を踏まえた答えになるかどうかわかりませんけ  
ども、備蓄倉庫に関しては本当に必要だと思っております、当面の活用という  
ことで、今回、予算をお願いしているところです。将来的にはより安全なところ  
ということで、こちらも努力をしていく必要もあると思っております。そういう  
中で、今回の予算を計上させていただいているところです、御理解いただき  
たいと思っております。

○**西口委員長**： ほかに。

○**成川委員**： 土地が268平米、坪数に直すと80坪ですね。あそこは、宮原の中心  
地で、災害リスクは別として、場所的にいいところです。僕ら古い人間なので坪  
数で割ると、この購入価格が十万以下になる。何で安いかと言えば、さっき、ほ  
かの第三者からも引き合いがあるとされていました、はっきり言って、老朽  
化したガレージがあるから安くなっている。

僕、最初に言いましたが、防災用の倉庫ガレージを買うと、こういう説明より  
も、先ほどの宮原の中心地の小学校の跡地利用、これを活用するために、もちろ  
ん今後、地域の人らと詰めていかなければなりません、そのために有効なので、  
より活用できるように、この土地を買うと。

たまたま、老朽化したガレージがあったので、今、コロナ対策とかで、そうい  
う備蓄用品というのは、今の状況では、あふれている。たまたま、そういうと  
ころがあったので、暫定的に、本来は小学校の跡地に利用するけども、一時的に、  
そういうあふれた用品を収容すると。将来的には、池田委員言われたように、き  
ちっとした安全な備蓄基地に、当然、時間的には移行していくと。

この説明がね。僕は、土地購入費でいいと思います。これ、わざわざ老朽化し  
たガレージを修理すると言っていますが、それがあつたので、安く買える。あの辺  
りを活性化するための土地を買うと。たまたま安くて早く買わないとほかの人に  
購入される。やっぱり、公共施設として利用したいという趣旨で購入して。た  
またま、老朽化したガレージだから、今あふれてある用品を一時的にでもそこへ収  
容して、将来に備えていくと、こういうふうな説明をしないと、最初から防災用  
倉庫をつくるということで進めると、話が見えないです。僕、最初にこれ、土地  
購入費と違うのかと言いましたが、防災用と載せたら今、こういう時代だから格  
好いいけども、そういうことではなしに、土地購入費でいいと思います。ただ、  
悪いけど、こう書いてあるので、みんな、言わないと仕方がない。感想です。も  
し答弁、お願いできるのであれば。僕はそう思います。

○**嶋田部長**： 回りくどい説明になっておりますけども、成川委員さんおっしゃ  
ってくれたような形のことも、当然考えてのこととございまして、ただ、当面の  
使い方としては倉庫として使いたいということですので、こういう形で上げさせ  
ていただいているということで、御理解いただけたらと思います。よろしくお願

いします。

- 成川委員： いいですけどね。何か説明の仕方がどうもわかりにくい。もっと正直に、こういうことですから、はっきり説明してもらいたいな。要望して、僕は終わります。
- 西口委員長： 今回の成川委員の提言、今後、議事を進めていく上でも、ほかの議案でも、十分、そういう意味を考えて説明をしていただきたい。議案に対する質疑はほかにはないですか。
- 池田委員： 今回の成川委員への説明が、ベストだと思います。職員、当局的にはそういうわけにいかないのかなとも思いますが、大松理事の部屋でも、そういう話をさせてもらって、もっと正直に言ったほうがいいのではないかというようなことも言わせてもらって今日になっていますが、そういった説明をしてもらうとね、まだ納得ができる。かといって、老朽化したガレージに、わざわざ入れる必要はないと思います。そういうふうな名目で購入するがために。本当に入れる必要があるのであれば入れたらいいと思いますが、そこよりもより安全なところがほかにあって、入れるところがあるのであれば、私はその倉庫に入れる必要はないと思う。それだけお伝えしておきます。結構です。

○西口委員長： ほかがございますか。

○委員： なし。

質疑終了 採 決 ( 可 決 )

○西口委員長： ここで当局に申し渡しておきます。

ただいまの議案第36号の議案の進め方等々について、これは補正予算については、議会に対して事前に十分な説明等々はなかった。それがなされていれば、今みたいな質疑の内容等々が出てこないと思う。今後、動かし方については十分、市長また副市長に相談しお願いしたいと思う。今後はそういうことで、ひとつよろしく願いしておきたいと思います。

○若松課長： 議案第37号 令和3年度 有田市介護保険特別会計  
補正予算（第1号）の説明

○西口委員長： 説明は終わりました。次に、質疑を認めます。

御質疑ありませんか。

○委員： なし。

質疑終了 採 決 ( 可 決 )

閉 会 午前10時50分